

丹波市立地方卸売市場運営協議会会議録(議事要旨)

■日 時：令和7月12月9日(火) 午前10時00分～午前11時00分

■場 所：丹波市立地方卸売市場 事務所棟2階会議室

■出席者及び欠席者

(委 員)

久下 聖太委員	中川 重之委員	荻野 正希委員
東浦 孝浩委員	内堀 恭子委員	岡林 利幸委員
河野 健児委員		

(欠席委員)

山内 延浩委員	隠岐 英治委員
---------	---------

(事務局)

産業経済部 部長 北野 壽彦	農林振興課 課長 中尾 大祐
農林振興課 係長 三原 英憲	

会 議 要 旨

1. 開 会

2.委嘱書の交付

3. 委員紹介

名簿順に読み上げ

～順次自己紹介～

4. 会長及び副会長選出

丹波市立地方卸売市場条例施行規則第 43 条に基づき選出

選出方法については、事務局一任の一言があり、事務局より選出

会 長 岡林 利幸

副会長 内堀 恭子

5. 会長あいさつ

6.報告事項

(1)令和 6 年度事業実績報告

令和 6 年度決算について

(2)令和 7 年度の取組みについて

(3)法改正概要

地方卸売市場法改正について

丹波市立地方卸売市場条例新旧対照表（案）

(4)その他

～資料について事務局より説明～

【事務局】

それでは、委員の皆様方から、ご意見、ご提案等お願いします。

【委 員】

教育委員会が定める主要 15 品目とはどんなものがあるのか。

学校給食に納入している生産者団体は何団体いるのか。

【事務局】

玉ねぎ、にんじん、じゃがいも、白菜、ブロッコリーなどがある。

柏原・氷上、青垣、春日各施設ごとに3～4団体ある。

【委員】

協議を進めていく中で様々な問題点があるのは確かだが、各生産団体が出荷をして、足りない分を東兵庫魚菜出荷組合の方で対応してもらえないかと言われていたが、集まらないときはどこも物がないため集まらないと思う。そんな中でピンポイントで生産者にあたるため、全生産者に聞くには期間が短く集まりにくいのではないかな。

また、協議の中で判明したことだが、釜ごとにキロ数を分けていて、たとえばひと釜20キロ必要なところ、生産者が30キロ出せますとなってもあとの10キロについては不必要となり、逆にひと釜30キロの必要なところに20キロなら出せますとなった場合は、10キロ足りないため断られてしまう。

そこで1つの釜に対してなぜ同じ生産者にしなければならないのか理由を聞いたところ、食中毒が起きた場合を考えてそういう方式になっていると言われていたが、業者が納品したものは混ぜて納品されているとのことだったので、地場産率30%を達成するために、他の生産者を混ぜて納入してもよいのではないかなと思うが今後どうなるのか。

【事務局】

学校給食の中のやり方であるので、また再度協議されるかと思うが、地場産率を上げていくためにはそういった見直しも必要ではないかなと思う。

【委員】

教育委員会側も納入方法について、柔軟に対応してもらわないと地場産率はあまり上がらないと思う。

【委員】

生産者の中で取りまとめるところを作り、そこで調整して出荷するような事は出来ないのか。

【事務局】

現状は各給食センターが取りまとめて依頼するような流れとなっており、過去に一度東兵庫魚菜に集めてもらい、各給食センターにもっていくという話があったが、出荷組合にも協議に参加してもらおう中で直接納品したいという意見があったと聞いている。

【委 員】

出荷団体は手数料をもらっていて、市場を通すと生産者の利益が減る。まず市場からの10%手数料が引かれてその後出荷団体に引き継ぐのでさらに引かれることとなり、最終的に15%引かれることになるので直接出荷組合に持っていく方がよい。

生産者で取りまとめ、調整して出荷をするには行政主導で行うべきだと考える。

【委 員】

近年玉ねぎ、じゃがいも、人参など主要なものが高騰している。

給食センターについて出荷組合が納品する場合の値段のつけ方はどうなっているのか。

【事務局】

出荷組合の値段については現状丹波市場と隣の福知山市場の毎日の相場の高値の平均が適用されている。

来年度からについては丹波市場の市場価格の高値の平均で算出される予定。

【委 員】

国の政策で学校給食の無償化が出ていて、丹波市もそのうち無償化になるかと思うが、先立って無償化はするのか。

【事務局】

現在中学校については無償化となっている。小学校についてはまだ決まっていないが今後なっていくと思われる。

議会の一般質問にて議員から給食の無償化について全面的に踏み込むべきと質問があった時に、市長は国がすでに動いているため近々実施するであろうという事で、その状況を今は見守るとありました。

【委 員】

無償化になった場合の東兵庫魚菜のような取引業者の取扱いと同じなのか違うのか。

【事務局】

無償化になれば保護者から給食費をもらっていたものが、もらえなくなるが、国の方から何らかの財源で手立てされる。現在国が財源を協議していて、それが実際の食材単価とリンクはするかどうかはわからないが、扱う食材の量や品質が変わることはない。高くなっても市は必要なものは買わないといけないため、国の財源とそこに差が生じる可能性があるが、そこは市が考えていかねばならない。

【委 員】

コスト指標とは何なのか。

【事務局】

詳細については国の方が今後協議していくとなっており、実際どのような指標になるのか決まっておらず、公表の方法についても、来年の1月以降に詳細が決まる予定です。

【委員】

指標を出すことにより消費者は安くなって良いかもしれないが、市場側にはメリットがないのではないか。

【事務局】

農作物を作り市場に出荷した時に、輸送料や経費がかかってくると思うが、その費用が一般的にはこのくらいだろうというのを国が示すようになっており、現在物価が高騰している割に、農作物を作る際にかかる肥料代や燃料代などが価格に転換されていないため、消費者にこれだけのコストがかかっていると理解してもらい、適正価格で販売ができるようにという考え方があり、今回のコスト指標が検討されるようになった。

【委員】

前回丹波篠山市の市場に対する補助金について伝えたが、今後も市場を存続させるのであれば丹波市も何かしら手立てを考えてほしい。

【事務局】

一昨年丹波篠山市の担当者に確認したところ、開設時に2年間だけ補助金があったということでした。

丹波篠山市は、倉庫を借りてそこを市場として地元の組合で運営してもらっており、当初は人件費と冷蔵庫に対しての補助が出されていた。3年目以降補助金等はなく、地元の組合で運営されている。

【委員】

JAの直売所や道の駅がなかった時代は、かなりの農産物が集まっていたが、直売所等ができてからは自分で値段をつけ持っていく人もいる。たくさん生産していて市場に持っていく人もいるが、高齢化が進んでおり昔に比べたら農産物も集まりにくくなっている。

大手のフランチャイズストアが増え、買受人も減っている。

丹波市の地産地消につなげていくのであれば市場が必要だと思っている。

4. 閉 会